



那霸市立教育研究所

所報第2号

平成21年5月11日
那霸市金城3-5-3
所長 池間生子



いよいよスタート！『教職員のための講座・研修』

「授業づくり講座Ⅰ」で教師力アップ！

那覇市立教育研究所では、教師の向上を目指す先生方のために、今年度も数多くの研修会を企画しております。去る五月一日には、そのスタートとなる『授業づくり講座Ⅰ』を実施いたしました。

この講座に参加したのは、教職経験が三年未満の臨任教諭（希望者のみ）のみなさんです。家庭訪問や遠足等の行事で忙しい中、十六の方々が「授業づくり」について熱心に学びました。

講師を務めたのは当研究所の池間生子所長です。「まだ授業経験の浅い先生方に、自信をもって授業に臨んでもらいたい。」という想いを込めて、左記のような内容を中心とした講話を行いました。

■「わかる授業とは」

■「単元の目標達成のために指導内容の見通しを持とう」

■「本時の目標を的確かつ具体的に設定し目標の達成に適した教材を準備しよう」

■「『活用』は授業を見直すチャンスと捉えよう」

また、「授業仮説を書いてみよう」というミニワークショップも好評でした。下記に事後アンケートの感想の一部をご紹介します。



日々、時間ばかりに流されて本当はおろそかにしてはいけないはずの授業を十分にこなせないと感じました。特に、授業仮説を持って授業に望むことで、めあての曖昧な行き当たりばったりの授業を確実に減らすことができると思います。



授業を行うにあたり、まず学級指導の在り方（3つの視点）を詳しく確認することができ、今現在クラス担任をしている中で、とても身の引き締まる思いがしました。また実際に授業仮説を書くことができ、参加して良かったと思います。



指導過程の具体的な書き方がたいへん参考になりました。手だけでの場面で、手間を取ったので、自分が授業を意識してないのだと痛感しました。



今日は「わかる授業」について勉強させていただきました。初めて教壇に立つということもあり、児童の視点に立った授業ができるかなど、改めて確認することができました。また週案は、単元を見通して作成するよう取り組んでみたいです。



自分の授業を振り返り、「指示待ちをしている子」を育てているのではないかとドキッとした。どのような受け答えをすればいいのか、授業前の準備など、すぐに実践できそうなことをたくさん学ぶことができました。



* お知らせ *

修月一定方待研6に予生お期夏て、学校する先をす。度つに配多しお計中旬表をす。申てのち